



伏見ジュニアサッカークラブ

宇治川水害とグラウンド復旧の足取り

(2013年9月16日～10月14日)

全面水没した宇治川河川敷グラウンド



残された泥海



漂着した巨大な排水管や流木、高さ3mの防球ネットを引き倒していました



1週間後 ひび割れた泥の層



厚さ5～15cm



⊕木箱 ⊖鉄箱

発見された道具箱
500m下流の葭原に
引っかかっていました

ぬかるむ足元に抄らぬ木箱の回収作業



暁の大作戦 重さ500kgの鉄箱の回収は困難を極めました



復旧作業はヘドロと埃の中
マスクと軍手と長靴とスコップ
タオルと帽子と水筒が七つ道具
まだまだボールやスパイクは使えません



進入道路の確保 延々100mの泥さらい OB、シニアが協力しました



明けても暮れても泥の撤去作業が続きました
部員も保護者も指導者も歯を食いしばって懸命に助け合いました



東京から駆けつけたSコーチの姿も



重機の登場で作業が一挙にはかどりました



最高級の技術を持った技師2人と好天に恵まれ
重機作業は4日半で終了しました
素晴らしい仕上がりは他チームから絶賛をいただきました

特別にグラウンドを開放していただいた
南浜小学校での練習



流失したコーン類の回収部隊



コーンの泥落とし作業

そして今、復活のみどりに覆われた伏見のグラウンド
部員の元気な声に戻ってきました



つなげゴールへ!
伏見ジュニアSC 巻 24期生